

グローバルヘルスにおける国際調整と国際協力 International Adjustment and Cooperation for Global Health 慶應義塾大学・聖路加国際大学公衆衛生大学院共催

厚生労働省主導のAMR対策であるワン・ヘルスは、今や感染症対策は国際協力無しには為し得ない事を明らかにしております。また、国際協力は、国際調整無しには為し得ません。更に、国際協力には研究ベースキャンプが重要な役割を果たします。

このミニシンポジウムでは、事例を踏まえて国際保健における、国際調整と国際協力の重要性を深耕してみたいと思います。

One Health(countermeasure against AMR) indicates that we can not conquer infectious diseases without international cooperation, which can not be performed without international adjustment. We would be appreciated it if we could discuss on international adjustment and cooperation for global health in this symposium.

日時: 平成29年12月16日10:00~12:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス南館4階会議室

事前登録制
(定員25人)

1. 「Task of Research Base Champ in Ghana for Global Health Security」

Peter Owusu Afriyie (聖路加国際大学)

2. 「グローバルヘルスセキュリティ向上のための国際協力」

International Cooperation for Global Health Security

宮田善之(慶應義塾大学)

3. 「国際保健保障: 国際調整の果たすべき役割」

Global Health Security and Safety: possibilities and challenges on international coordination

青木節子(慶應義塾大学)

4. 総合討論(コーディネーター 青木節子)

<進行> 宮田善之

申込は下記Webサイトから事前登録をお願いします。

<http://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/037391.html>

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート 安全クラスター

感染症グローバルイニシアチブに対する、国際的・医学的枠組みの構築研究プロジェクト

事務局 宮田<問合せ先 kgrintdskeio@kf6.so-net.ne.jp>